

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成28年度】

(④社会体育施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		東遠カルチャーパーク総合体育館			担当課名	スポーツ振興課		
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	東遠カルチャーパーク総合体育館条例						
	(2)施設設置目的	東遠圏域におけるスポーツの振興及び健康増進を図るため						
	(3)施設が有する設備、機能の概要	アリーナ(66m×37m)、観客席(1,008席)、車椅子席(40席)、武道場(33m×20m)、弓道場(遠的3人立、近的9人立)、研修室(72人収容)、プール(25m×6コース)、トレーニング室、スタジオ、ランニング・ウォーキングコース(1週230m)、託児室、駐車場(最大480台)						
	(4)施設建設年度	平成15年度						
	(5)耐震性能の有無	有						
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	アリーナ天井落下防止対策及び空調改修工事(6億円)						
	(7)指定管理者名	特定非営利活動法人 掛川市体育協会						
	(8)指定期間	平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで						
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし ※設定ありの場合、(期間 平成 年度～平成 年度) (限度額 千円)						
	(10)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度						
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし							
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成28年度)							
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	240,105	251,900	256,150	309,660	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	264,084	280,703	282,260			
	内訳(施設・設備ごと)	①トレーニングルーム	42,157	44,844	46,416			
		②スタジオ	16,258	16,026	15,545			
		③プール	52,639	54,533	54,263			
		④アリーナ	72,318	82,891	86,186			
		⑤弓道場	5,225	1,787	6,664			
		⑥武道場	23,507	22,641	21,993			
		⑦研修室	12,541	13,689	12,579			
		⑧その他(託児等)	39,439	44,292	38,614			
(2)稼働率(利用率)	↓備考欄に算定式を記入してください↓							
(施設・設備ごと)	①トレーニングルーム(定員46人)	A平日昼間		50.2%	50.5%		※算出式:利用者数÷営業日数÷4.5回転÷46人	
		B平日夜間		71.8%	77.4%			
		C土日祝昼間		57.8%	61.8%			
		D土日祝夜間		35.4%	37.2%			
	②スタジオ(定員30人)	A平日昼間		78.8%	85.7%		(昼間)利用コマ数÷(利用可能コマ数×営業日数) (夜間)利用コマ数÷(利用可能コマ数×営業日数)	
		B平日夜間		88.4%	89.9%			
		C土日祝昼間		59.4%	59.9%			
		D土日祝夜間		67.5%	53.7%			
	③プール(定員35人)	A平日昼間		104.0%	108.5%		※算出式:利用者数÷営業日数÷4.5回転÷35人	
		B平日夜間		63.0%	57.9%			
		C土日祝昼間		84.0%	79.6%			
		D土日祝夜間		51.0%	70.4%			

2 利用状況	(施設・設備ごと)	③アリーナ (定員36人)	A平日昼間		72.2%	72.4%	※算出式(昼間):利用面数/(利用可能面数:12面×営業日数) (夜間):利用面数/(利用可能面数:4面×営業日数)
			B平日夜間		92.2%	93.4%	
			C土日祝昼間		91.7%	88.9%	
			D土日祝夜間		94.9%	92.6%	
		③弓道場 (定員37人)	A平日昼間		140.0%	129.9%	※利用者数:(昼夜問わず)/[定員数:12人(近的9人、遠的3人)×営業日数]
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		③武道場 (定員38人)	A平日昼間		68.8%	74.5%	※算出式(昼間):利用面数/(利用可能面数:6面×営業日数) (夜間):利用面数/(利用可能面数:2面×営業日数)
			B平日夜間		83.0%	89.5%	
			C土日祝昼間		71.3%	65.1%	
			D土日祝夜間		91.4%	86.7%	
区分			H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		NPO法人掛川市 体育協会	NPO法人掛川市 体育協会	NPO法人掛川市 体育協会	掛川市体協・ミズノ・ 鹿島建物協働体	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		394	392	431		
	(3)運営日数		309	309	308	308	
	(4)運営人員	①正規職員	20.0	20.0	20	17.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定 管理施設で働いている実人数を記入してください。
②臨時職員		21.0	21.0	21	23.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	80,346,662	85,280,398	95,217,188	61,573,000	
	②印刷費	624,861	881,763	969,649	800,000	
	③通信費	937,158	827,524	803,370	784,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	781,518	746,898	770,132	630,000	
	⑤借上料	10,458,762	10,349,875	10,754,730	8,680,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	7,042,100	7,582,478	8,573,350	5,405,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	3,836,011	4,238,421	4,695,657	5,359,999	
	計	104,027,072	109,907,357	121,784,076	83,231,999	
	対前年度増減率		5.7	10.8	△ 31.7	
区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	42,153,348	40,437,448	32,194,089	52,000,000	
	建物管理委託	38,556,000	37,011,268	28,670,760	21,710,000	
	トレーニング機器保守委託	648,000	648,000	648,000	650,000	
	武道場畳敷・弓道場保守委託	782,590	729,937	712,282	760,000	
	プール水質管理委託	632,000	648,000	423,360	70,000	
	プール可動床保守点検	907,200	907,200	259,200	630,000	
	その他	627,558	493,043	1,480,487	28,180,000	
	②修繕費	1,419,508	2,920,347	4,601,221	1,200,000	
	③光熱水費	43,390,978	41,209,365	34,131,078	41,500,000	
	④燃料費	257,223	181,163	173,604	200,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	4,394,361	4,314,255	6,503,352	5,884,000	
	計	91,615,418	89,062,578	77,603,344	100,784,000	
対前年度増減率		△ 2.8	△ 12.9	29.9		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	195,642,490	198,969,935	199,387,420	184,015,999		
(4)合計のうち運営コストの割合	53.2	55.2	61.1	45.2		
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	42,478,490	45,805,935	47,687,420			
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	40.8	41.7	39.2			

III 収支差額の状況

注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設利用料金収入	42,478,490	45,805,935	47,687,420	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)	△ 153,164,000	△ 153,164,000	△ 151,700,000	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)	153,164,000	153,164,000	151,700,000	

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 自主事業の収入	95,959,098	99,929,304	100,207,567	
b) 自主事業の支出	84,580,775	86,039,867	87,442,395	
収支差額 a) - b)	11,378,323	13,889,437	12,765,172	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 【いつまでに、どのように対応するか】 ・地域のスポーツ拠点として定着するよう引き続きPR活動と施設の利用促進を図ること
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	82.2%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・幅広い利用者層へのサービス展開 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今年度中に高齢者向けプログラムの充実、生涯学習や文化プログラム（イベント）の実施をすること
B サービス内容の満足度	90%以上	84.2%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・関係団体の意向を修繕等に反映する 【いつまでに、どのように対応するか】 ・関係団体に意向を聞いて修繕の計画をすること
C 従業員対応の満足度	90%以上	86.1%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・接遇 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今年度中に接遇研修を実施し、従業員の資質向上に努めること
D 施設安全対策の満足度	90%以上	82.2%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・職員の防災設備取扱方法等について、知識の向上を図る 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今年度中にマニュアル等を作成すること
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	80.2%	2	【達成できていない点・主な課題】 ・清掃 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今年度中に日常清掃点検の強化、清掃マニュアルを作成すること
F 施設の利用者数	256,150人	282,260人	3	【達成できていない点・主な課題】 【いつまでに、どのように対応するか】

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	1	【達成できていない点・主な課題】 ・個人利用の増加 【いつまでに、どのように対応するか】 ・利用者が気持ちよく施設を使っていたらに接遇研修を今年度中に実施すること
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・職員の防災設備取扱方法等について、知識の向上を図る 【いつまでに、どのように対応するか】 ・マニュアル等の整備を今年度中に行うこと
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・中長期修繕計画 【いつまでに、どのように対応するか】 ・中長期修繕計画を今年度中に作成すること
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設についての中長期及び短期修繕事項についての調査 【いつまでに、どのように対応するか】 ・今年度中に施設の修繕事項を精査すること ・引き続き人件費の削減に努めること
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計 23 / 33

V その他自由意見

--